

そんぱちやくくじん　しやかいん

尊鉢厄神釈迦院（池田市）

神亀元年（724年）に若王寺^{にやくわうじ}として
聖武天皇の勅願により行基菩薩によって開創。
信長の兵火により一山焼失のあと「釈迦院」の名で再建されました。

「尊鉢厄神」の通称で親しまれ、
厄除開運の祈願所として多くの信仰を集めています。
また、本堂・厄神殿・護摩堂・鐘楼等を有し、
緑豊かな境内は、近隣の人々の憩いの場として親しまれています。



山門



厄神殿（本殿・拝殿・御供所）

毎年1月18・19日の厄神大祭では
多くの参拝者が訪れる。